

事業実施主体の概要

- ・所在地：鹿児島県和泊町
- ・経営体名：和泊町グリーン化推進協議会
- ・栽培作物：スプレーギク及びソリダゴ
(令和6年4月現在)

導入技術

- ・無線式小型耕耘機 ((株)新屋園芸製)



導入経緯

- 花き栽培における周年出荷を行う上で連続畝使用時の耕うん作業が課題であった。
- そこで省力化を目的に、令和5年に畝連続使用における無線式小型耕耘機を導入した。
(みどりの食料システム戦略推進総合対策事業)

取組の特徴・効果

- 無線式小型耕耘機を導入して、連続畝使用に係る耕うんに活用。
- これにより連続畝使用の耕うんが可能となり労働時間等の削減効果を確認。
- 今後農家へ普及する予定。
- ・労働時間の削減

表 畝連続使用体系の10a当たりの作業時間の比較
(単位:分間/人)

作業工程	対照区 慣行の栽培体系	実証区 畝連続使用体系
全面片付け	100	0
全面耕うん	167	0
畝のみ施肥	67	67
畝のみ耕うん	107	107
畝上げ	107	0
ネット張り	107	0
計	655	174